

社会課題を解決し、社会と共有する価値を創造する ASV(Ajinomoto Group Shared Value)

■ 社会の課題に向き合い、社会とともに行動する

グローバル化が進むなか、各国・地域には人々の生活や地球環境を脅かす課題が存在しています。先進国であれ開発途上国であれ、課題と向き合い、解決に向けて行動しなければならぬという点に変わりはありません。

「国連持続可能な開発目標(SDGs)」は、2030年に向けた持続可能な開発に関する17の目標と169のターゲットを定めたものです。政府のみならず、企業や一般市民の主体的な行動による課題解決が求められているのが特長です。

味の素グループも、グローバルに事業を行う企業体の一つとして、SDGsの達成に寄与していくことを目指しています。

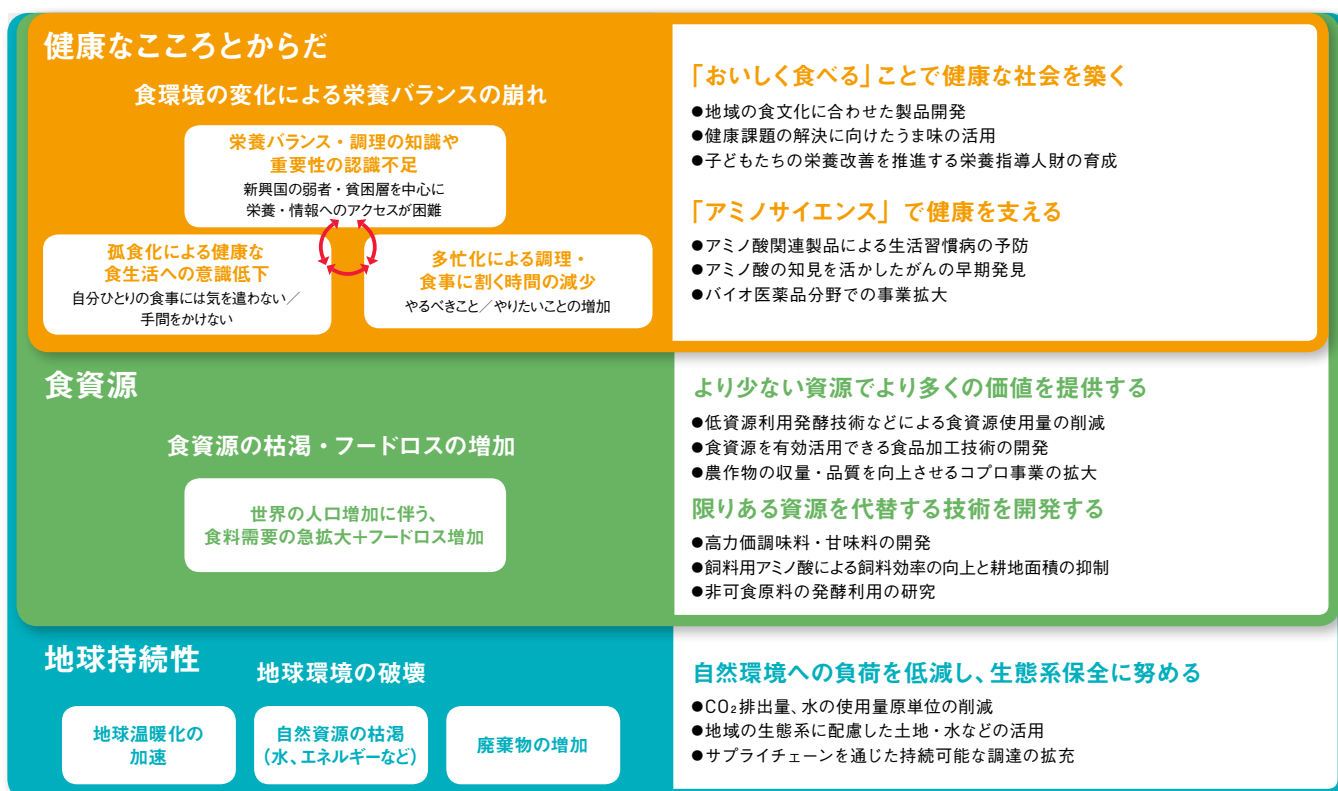


■ 味の素グループが事業を通じて解決すべき「21世紀の人類社会の課題」

味の素グループは、創業100周年にあたる2009年に、事業を通じて解決を目指すべき「21世紀の人類社会の課題」を発表しました。課題の抽出にあたっては、SDGsの前身である国連ミレニアム開発目標(MDGs)や社内外ステークホルダーとの対話などを踏まえ、多様な観点から検討しました。

「21世紀の人類社会の課題」は「健康なところからだ」「食資源」「地球持続性」の3つからなります。これらを経営の中心に据え、事業を通じて解決に貢献していくことを宣言しました。

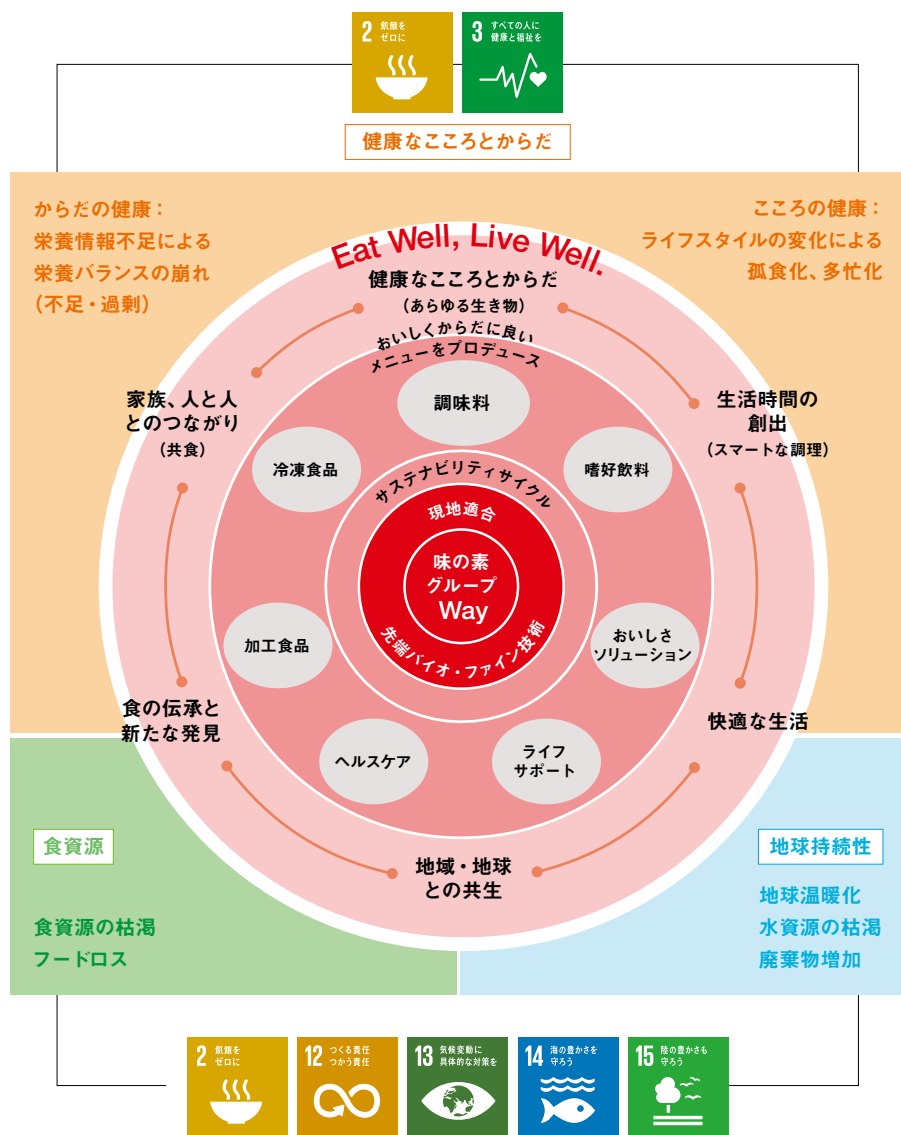
また、これらの社会課題を解決する土台として、コーポレート・ガバナンスや人財面などの「事業活動の基盤」の整備も進めてきました。



■ 味の素グループが目指す創造価値

味の素グループは、創業以来一貫して事業を通じた社会課題の解決に取り組み、社会・地域と共有する価値を創造することで経済価値を向上し、成長につなげてきました。この取り組みを「ASV(Ajinomoto Group Shared Value)」と称しています。

2017-2019 (for 2020) 中期経営計画では、「21世紀の人類社会の課題」の解決に向けたアプローチとして、コアコンピタンスをもとにした「ASVを通じた価値創造ストーリー」を定め、それにもとづいた事業活動を展開しています。



ASVを通じた価値創造ストーリー

1

先端バイオ・ファイン技術とそこから生まれたおいしさ設計技術により、おいしくからだに良い食で、健康づくりに貢献します

2

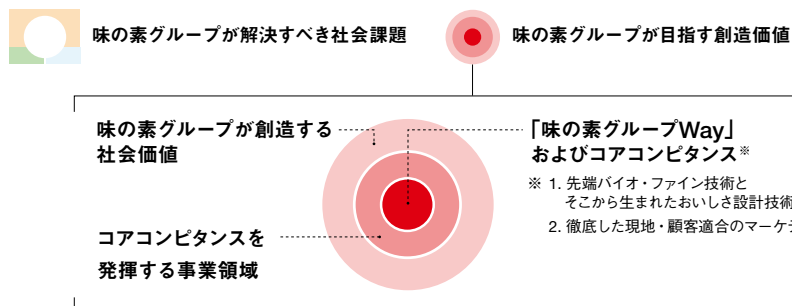
食を通じて、家族や人と人がつながり、多様なライフスタイルを実現できる社会づくりに貢献します

3

モノづくりから消費の場面に至るまで、社会とお客様と共に地域・地球との共生に寄与します

4

グローバルトップクラスの多様な人材が、お客様起点で地域と価値を共創します

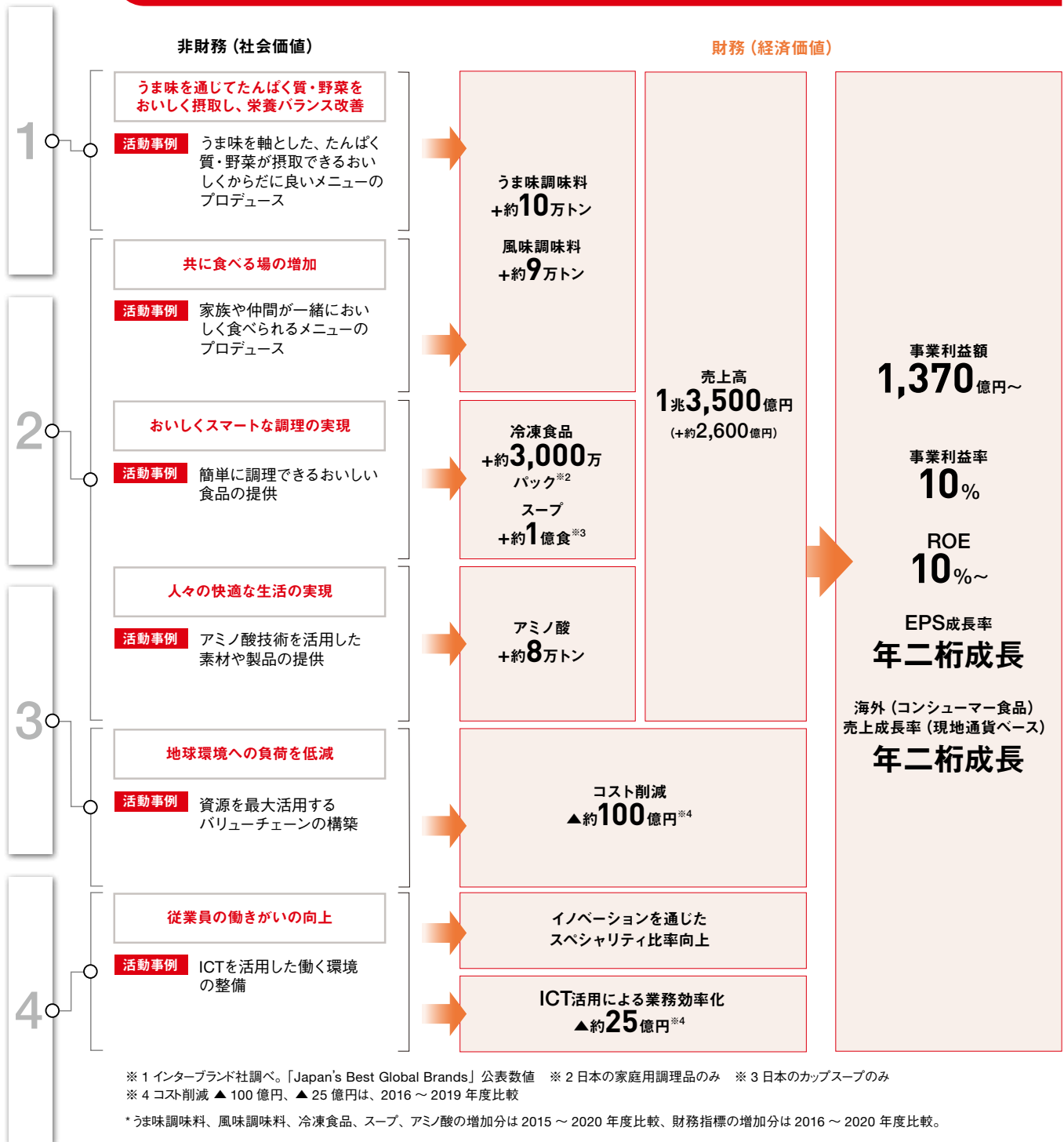


味の素グループの統合目標

ASVを通じた
価値創造ストーリー



2020年度統合目標



※1 インターブランド社調べ。「Japan's Best Global Brands」公表数値 ※2 日本の家庭用調理品のみ ※3 日本のカップスープのみ
 ※4 コスト削減 ▲100億円、▲25億円は、2016～2019年度比較

*うま味調味料、風味調味料、冷凍食品、スープ、アミノ酸の増加分は2015～2020年度比較、財務指標の増加分は2016～2020年度比較。